

2002年度第3四半期連結決算

2003年2月14日
川崎汽船株式会社

A. 2002年度第3四半期決算概要

(単位:億円)

		上 期	第3四半期	累 計	公表通期 ()	達 成 率
売 上 高	連結	3,096	1,636	4,732	6,100	77.6%
	単体	2,443	1,291	3,734	4,800	77.8%
営 業 損 益	連結	113	91	204	220	92.6%
	単体	72	65	137	140	97.9%
経 常 損 益	連結	78	75	154	165	93.0%
	単体	52	55	106	105	101.0%
当 期 損 益	連結	49	-	-	100	-
	単体	28	-	-	60	-
為 替 レ ー ト	平均	¥ 123.77	¥ 122.73	¥ 123	¥ 120	-
バ ン カ ー 価 格	平均	\$ 152.21	\$ 162.03	\$ 156	\$ 160	-

() 2002年9月末中間決算時公表数値です。

B. 第3四半期決算特記事項

- 不定期船・タンカー市況上昇
- コンテナ船欧米向け荷動き堅調
- 自動車船米国・中東諸国向け輸送台数伸長
- コスト削減運動の順調な進捗
- 米国西岸における港湾ロックアウトの影響
- 燃料油価格高騰

C-1. 部門別業績動向 (コンテナ船)

コンテナ船: 当初見込みを上回る業績達成

- 新造大型船13隻フル稼働(02年9月～)
- 中国出し貨物を中心に好調に荷動き推移
- 北米・欧州・アジア航路とも当初見込積高達成
- 欧州航路02年10月の運賃修復実現
- コスト削減運動進捗
- 米国西岸港湾ロックアウトによる費用増加
- 燃料油価格高騰

C-2.部門別業績動向(不定期専用船)

不定期専用船:当初見込みを上回る業績達成

- **不定期船:運賃市況回復基調
鉄鋼原料輸送船中心に稼働大幅増**
- **自動車船:北米・豪州・中近東向け輸送堅調
米国西岸ロックアウト影響あるも
船舶経費削減等でコスト削減**

C-3.部門別業績動向(エネルギー-資源輸送)

エネルギー-資源輸送:当初見込みを大きく上回る

- 液化ガス運搬船:各プロジェクト共順調に進捗
- 電力炭:市況回復、新造船投入効果もあり
輸送量大幅増加。一部で逆鞘配船あり
- 油槽船:タンカー市況上昇

C-4.部門別業績動向（連結子会社）

- 内航・フェリー部門：業績安定。
- 航空貨物取扱：堅調に推移。10月貨物急増。
- 運輸付帯サービス：貨物扱い増に伴い業績改善。
内需関連は低迷。

D. 2002年度通期見込み

(単位:億円)

		通期見込	中間公表時 (11月14日)	増減額	増減率	2001年度実績
売上高	連結	6,300	6,100	200	3.3%	5,710
	単体	4,950	4,800	150	3.1%	4,492
営業損益	連結	290	220	70	31.8%	190
	単体	190	140	50	35.7%	83
経常損益	連結	220	165	55	33.3%	120
	単体	150	105	45	42.9%	71
当期損益	連結	110	100	10	10.0%	48
	単体	65	60	5	8.3%	28
配当	単体	5円	4円	1円	-	3円
為替レート	平均	¥122	¥120	¥2	-	¥125
バンカー価格	平均	\$163	\$160	\$3	-	\$134

前提: 1-3月為替: 120円、バンカー価格 \$ 180、投資有価証券含み損の解消図る

E. KV-Plan 収支計画進捗状況

(単位: 億円)

		01F	02F	02F	03F	04F
		実績	計画	予想	計画	計画
為替	/US\$	¥125.11	¥130	¥122	¥130	¥130
バンカー	/MT	\$134.17	\$140	\$163	\$130	\$130
単体	売上高	4,492	4,600	4,950	4,800	5,000
	営業利益	83	95	190	160	270
	経常利益	71	80	150	130	240
	当期利益	28	45	65	70	130
連結	売上高	5,710	6,000	6,300	6,300	6,500
	営業利益	190	185	290	290	400
	経常利益	120	145	220	230	350
	当期利益	48	90	110	120	200

連結: KV-PLANにおける2003年度計画に匹敵

単体: KV-PLANにおける2003年度計画を当期利益を除き上回る

計画前提より円高、バンカー高を克服

F. 部門別業績動向

- 部門共通の悪化要因：燃料油高騰、為替円高
- コンテナ船：運賃率の修復、航路再編等によるコスト削減の推進
業績は当初見込みからやや改善
- 不定期専用船：不定期船における運賃市況の回復、
自動車船における米国・中東諸国向け等荷動き堅調
業績は当初見込みを上回る
- エネルギー資源輸送：油槽船における市況上昇
業績は改善
- イラク情勢不透明なるも、今期業績への影響は少ない

G-1. 当下期連結決算の特徴(対中間見通し比)

損益変動要因 (経常ベース+55億円)

• バンカー高 (+\$14/MT)	15億円
• 市況改善(コンテナ、バルカー、タンカー)	+70億円
• 積高減少	7億円
• <u>コストセーブ他</u>	+ 7億円
合計	+55億円

G-2. 損益変動要素 (半期ベース)

(前提: 02F下期ベース)

- | | | |
|---------------------|-------|--------|
| • 円ドル為替1円安/高 | 単体+/- | 2億円 |
| | 連結+/- | 2.5億円 |
| • 燃料単価\$10/K.Ton安/高 | 単体+/- | 10億円 |
| | 連結+/- | 11億円 |
| • 市況 コンテナ運賃10ドル | 単体+/- | 11.5億円 |
| 不定期 10% | 単体+/- | 2億円 |
| タンカー WS10 | 単体+/- | 3億円 |